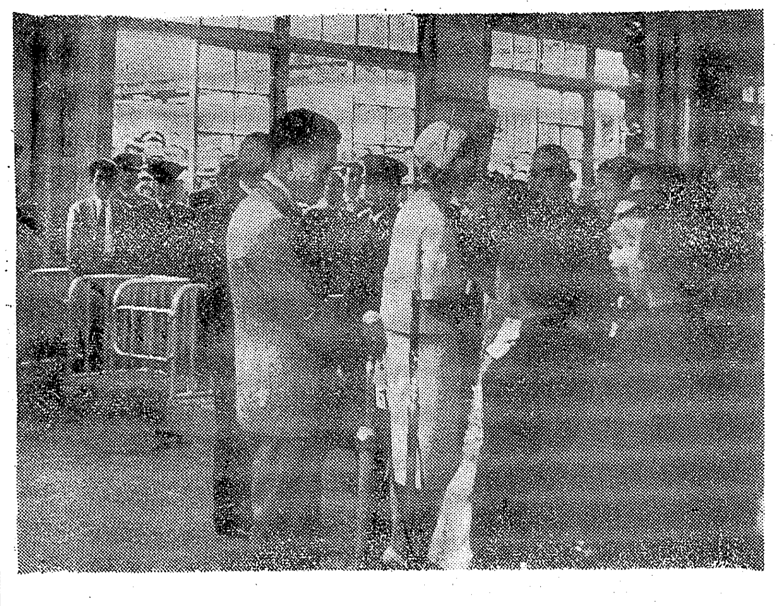
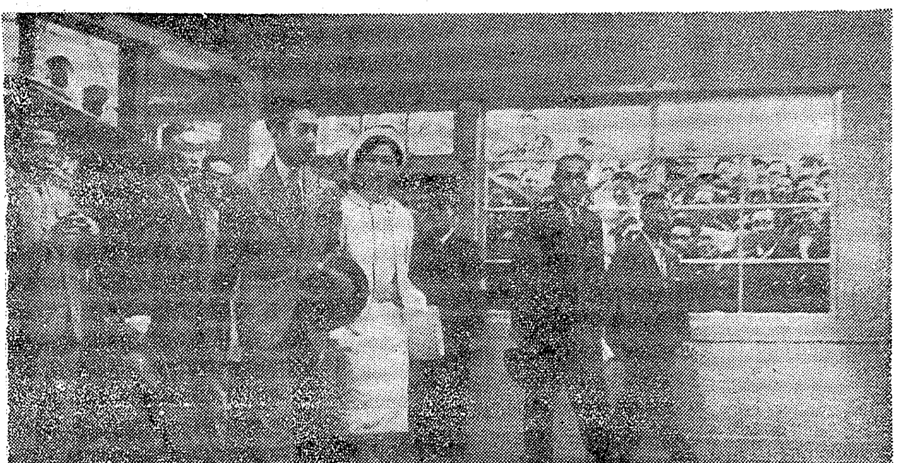
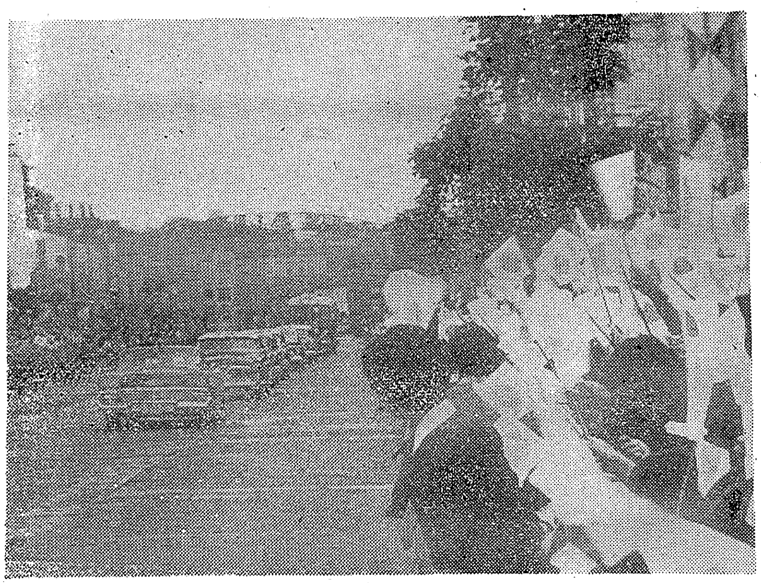
常磐毎日
発行所
平市田町75番地
常磐毎日新聞社
電（代表）2104―2105番

ようこそ皇太子様ご夫妻







奉迎写真説明　＝右よりご夫妻、準急『いわき』を降り奉迎者にお会釈の平駅ホーム。左上＝戸渡分校児童らに握手とお言葉を交わされる妃殿下。左下＝せめて一目だけでも、と早朝からお通過路筋をうずめたお迎えの人の波。

会津清酒
稲川
稲川酒造店吟醸
福島県猪苗代町字新町

「今晩」北の風曇、朝方小雨残るが、のち晴れたり曇つたり
「明日」北寄りの風晴、時々くもり
「海上」風波やや高いが、夜にはおさまる明日多少風波が出る。

にこやかに会釈
爆発的人気あとに放魚祭へ

一日ご前十一時三十分皇太子さまご夫妻がいかにも元気そうに手を振りながら無事平駅にお着きになり、自動車をつらねて放魚祭の会場磐城市へ向われた。皇太子さまはグレー系統の背広美智子妃はクリーム色のスーツに同色の帽子、佐藤知事、諸橋平市長らの案内で平駅出札口に姿をみせると改札口付近から一せいにワーという歓声があがる。左手をあげて歓迎市民に応えながら階段口をおりられたご夫妻は美智子妃の御希望で特にお逢いすることになつた小川小学校戸渡分校の生徒たちがおまちする出札口に直すぐ進み、十三人の生徒一人、一人に美智子妃から「皆さんから頂いた百合の花が立派に咲きました。本当にありがとう、元気で勉強して下さいネ」とおことばがあり、続いて皇太子さまも生徒達の中央に進んでごあいさつ。なごやかな場面をつくつた。駅前をうめた黒山の歓迎者に手を振つてお応えになつたあと自動車で一路磐城市へ向つた

郵政大臣賞
あす常磐局へ

常磐郵便局（飯塚盛雄局長）は昭和三十五年度郵便貯金奨励ならびに為替貯金業務成績最優秀局として六月二日午後三時より、山形県上の山村尾旅館に於て郵政大臣より表彰されるなお三十五年度の貯金総額内訳は自由貯金五千六百三千余万円定期貯金一億一千三百定期積立貯金一百八十四万六千円となつている。

記念スタンプ　小名浜

磐城郵趣会、小名浜郵便局ではあす一日小名浜港で開催される第四回放魚祭、全国水産資源保護大会を記念して一日から三日間局会議室で切手展を開く。また一週間局窓口と会場に記念スタンプを備えつけた。

切バスを仕立てて遠く会津方部から繰り出した人々もあつておよそ三十万に達するのとみられている。

両殿下みづから
稚魚を海中に放流

磐城市で行なわれる放魚祭にご臨席の皇太子ご夫妻は沿道の大衆に迎えられ、定刻の十二時四十五分市役所にお着きになつた三代市長のご案内で二階市長室の東左側バルコニーにお揃いで現われ、歓声湧きあがる市民にご会釈をなされた。ぜひ一目だけはと集まつた市民はいつまでも動かない。

ご夫妻は佐藤知事、鈴木県会議長、三代市長、菅原市議会議長、三宅県警本部長の陪席で、常磐炭砿の調理になつた和洋食でお中食をすまされたあと、水産関係展示展に、元北海道大学水産学部長渡辺宗重氏から、福島県の水産概況、漁業操業の実態、漁船や漁業の推移、水産物の加工について説明をうけられた。約一時間ののち、放魚祭式場の特設さん橋に臨み、皇太子には浅原源八郎氏（日本水産資源協会専務理事）同妃殿下には佐久間敏県経済部長のお介添で、イケスに畜養してある、小鯛、イナダ、アジ、セイゴ、カレイ、カワハギなど、アワビ、ウニ、アサリなどの魚介類を放流なされた。ここも式場をはじめ市民の人出で賑わいを見せていた。式場ま近かな海上には海上保安庁小名浜をはじめ各管区から回航した監視船をはじめ、地元漁船八十余隻がこの盛儀に参加した。

お返事に頭をコクリ
美智子妃のお言葉に
児童らは夢のよう

このたびの御来郡の出色はなんと言つても小川小戸渡分校の十三人の生徒たち、おくつた百合の花が縁となつて今日の対面となつたわけだが、初めての御対面とあつてご夫妻の到着前から生徒たちの顔はきん張にこわばり、更に報道陣に取りかこまれて取材攻めということだからいうなればコチ、コチ。美智子妃が児童たちの顔とふれ合うほど近づいて手をとるようにして一人一人あいさつなさつてもコクリと頭を下げるのがやつと、一般歓迎者はいかにもうらやましそうにこの情景をみてキャーキャーと奇声を張りあげれば、報道陣の中からも、少しこちらの方も向いて下さいとヤキモチされる有様、報道陣の「こちらを向いて」に皇太子さまは笑顔で応えられていた

沿道もお手を振る
美智子妃に市民うなる

ご夫妻は平市三十米大通りから消防署前ロータリーを右に折て長橋内郷―常磐と切れ間のない人垣の中をお廻りになり、十二時四十五分磐城市へお着きになつた。磐城市役所二階バルコニーから市民の歓迎に応えたのち、市役所内の水産展などをご覧になり、昼食のあと放魚祭に臨み、ご夫妻はタモとるお手も鮮やかに稚魚を海中にお放しになり意義ある放魚祭を終りそれより魚市場で水揚げの状況をご視察、更に勿来市の共同火力をご覧になつて午後四時三十分勿来駅から帰京されるが、初の御来郡にこの日沿道をうめた歓迎陣は官

放魚祭に際して
磐城市長　三代義勝

このたび皇太子同妃両殿下の御臨席を仰ぎ、第四回放魚祭ならびに水産資源保護全国大会を開催されますことは、本市の最も光栄に存するところで誠に感激に堪えない。

放魚祭は、水産資源に対する認識とその保護増殖施策を積極的に推進して、沿岸資源の増殖確保とわが国水産業の振興発展に寄与することを目的としたものであります。

御承知の如く本市は、常磐総合開発の原動力となり、商工業港湾都市として飛躍的発展を続けるばかりでなく、わが国屈指の常磐漁場と小名浜、江名、中之作の三大漁港を有して年間約三十億円以上の水揚高を示し、本市の水産業は、市の発展を大きく左右する重要産業でありますので、今回の催しこそ、本県水産業進展により一層の促進をうながすもので洵に意義深いものがあります。今回の御奉迎が関係者ならびに市民各位の積極的な御支援と御協力により盛大な大任を果し、皇室の御繁栄を心から御祈りしまして喜びの言葉といたします。

両殿下御来浜にあたつて
福島県議会議員　小野義一

国際上重要なる日本水産等の伸展は、港湾の建設は勿論でありますが、その基盤であるのは水産資源に関する認識とその保護増殖の精神を徹底滲透せしめ水産資源の保護増産を積極的に企画し実現化する事にあります今度皇太子、同妃殿下の御来浜をこうむり御臨席の基に第四回放魚祭並びに水産資源保護全国大会を磐城市小名浜にて開催する事は、全国漁民運動の呼び声として、記念すべき行事であります。

従つて福島県民特に常磐五市民の誠に光栄とする処であります。又、両殿下の御来浜は、誠に意義深く、国際港小名浜の名は永久に広く全国に伝えられ、みなと小名浜は、益々躍進するであろう。この機会に吾等は我国産業経済の進展の中心たる水産資源保護及漁業の発展等のために、より以上の努力をいたしましょう。

押尾川を襲名
披露相撲きのう行う
時津

平市出身の元関脇、時津山（三六）＝本名薬谷仁一、立浪部屋＝の引退年寄押尾川襲名披露大相撲は三十一日正午から東京の蔵前国技館で多数のファンを集め行なつた。

時津山は昭和十四年春十四才で入門、翌十五年夏場所初土俵、二年半経た十八年春やつと西序ノ口三十二枚目になり、羽黒山の付人をしていた。十九年秋入営したが、二十年夏復員、猛げいことファイトで二十一年秋には西幕下二十一枚目で全勝優勝、二十四年幕ノ内入幕、二十八年夏場所は東六枚目で全優勝を成り、東関脇になり一時は飛ぶ鳥を落す勢いだつた特に得意のやがら投げのさえは横綱若乃花を振り回したこともあり、名力士から恐られていた。

披露は横綱若乃花の土俵入り、相撲甚句に続いて断髪式を行なつた。断髪式には平市の後援会長岡田政次郎氏（七八）同副会長大塚駒太郎氏（六五）立浪部屋後援会長加藤清二郎氏、力道山ハーモニカの宮田東峰氏ら関係者多数が土俵に上がり、ハサミを入れ、最後に立浪親方がマゲを落した。

追越しのバイク
ダンプに追突し重傷

三十一日午後八時五分ころ、勿来市小川町字前の内七三田子弘明さん（一九）はバイクを運転、同市錦町字大島地内国道を進行中、前を走つていた、同市植田町字本町赤津砂利店＝高木正司運転手（三二）＝のダンプカーを追い越そうとして前バンパーに追突した。この為田子さんは転倒して電柱に頭を強打し頭がい骨々折全治三カ月の重傷。

珠算検定の
合格者発表

去る二十八日内郷高校で行なつた全珠連第四十三回検定試験合格者の氏名は次のとおり。

第一級　石川キヨ子
久野多恵子　櫛田アイ子　菅原啓子
宮川しげ子　水野淑子　鈴木孝子
渡辺満敏　草刈マサ子　渡辺正章
清水宣子　千葉好野　水本　正子
吉田幸子　菅原啓子　永山　文子
大河原佳代子　大柳ふみ子
渡辺たかえ　櫛田美恵子　根本信弘
松崎賢三　近江智恵子　今関美代子
魚朔敦子　枝紀代美　西山　寿子
野崎弘子　居倉正江　伊藤　芳江
遠藤久子　佐藤節子　四条　房子
吉田ミチ子　中根止晴　坂上アヤ子
五十嵐幸子　加沢行子　鈴木由美子
武曽美智子　横山恵子

第二級　思上キヨ子　倉持良子
平子カツ子　飛田芳夫　根本宣子
中山友子　菅野文男　油谷美津江
立花　進　永山克彦　長谷川佳子
渡辺たかえ　大友ミツ子
新妻マサイ　中山兼一　渡辺美津江
山崎典子　森山栄子　田中耕四郎
大内トシ子　佐藤美津子
西丸亜起子　新妻恵美子　吉田静枝
渡辺ミヨ子　菊地かつ子　熊谷道子
斉藤和子　佐川森栄　四条　房子
一柳法子　根本一代　阿部　二郎
大竹美智子　東海林圭子　坂本弥生
羽賀日呂美　佐藤千恵子

第三級　遠藤知子　櫛田美智子
千葉悦子　小林洋子　池田登志子
佐々木敏雄　菅野浩　伊藤すみ江
丹野みち子　新妻泰子　鈴木博美
高橋道代　長谷川照子　伊藤みよ子
鈴木泰子　吉田秋子　佐原　弘子
萩　恵子　宮本孝子　遠藤　紘美
渡辺正道　根本秀雄　五十嵐利雄
会田京子　白石博子　菅野登美子
渡辺秀子　尾崎クニ子　助川加代子
片寄雅庸　[illegible]豊　高田　幸雄
石川郁子　橋本初恵　今泉満里子
小川美佐子　木内幸子　中田昭子
水野俊枝　若松ヤス子　新妻ケイ子
佐々木照子　伴千鶴子　鈴木千恵子
会川サヨ子　鈴木秀子　伊藤京子
四家せい子　志賀重子　小野定子
鈴木愛子　三好美子　猪狩　裕子
田中ヨシイ　鈴木千恵子

銘菓　[illegible]最中　平凡

●定評ある
生そばと
中華和洋食
もり、かけ　三〇円
ざる　五〇円
中華そば　五〇円
遠近問わず
自家用車配達
女店員募集
酒喜庵
食堂部
TEL 4431 4432

警報下のボヤ
すぐ消止む

三十日午後一時三十分ころ勿来市山田町字関場地内の法田寺所有の山林から火を出したが、発見が早かつたため約六アールを焼いただけで消し止めた。勿来署の調べによると原因は塩家の人たちがスギの植樹をするため行なつた下刈の火の不始末から。

親しみ深いお会釈
皇太子ご夫妻を迎えて

このお多忙のうちに、おいでいただき産業のお視察をいただいて、ほんとうにご苦労さまでした。おふた方がお若い時代に、ご覧になられたいわきの印象をいつまでもお忘れないことを願うものである。

閻魔帖

▼▼本県に御一泊なされた皇太子ご夫妻には、予定どおり五市をはじめ、いわきの郡民待望の平駅前に第一歩を印された。市民の心からなる歓迎をうけられ、この日にそなえたがごとく全面舗装された沿道を車も軽く人の波、旗の渦に迎えられ、放魚祭にご出席、意義ある催しを無事終られたことを喜ぶものである。

▼▼型苦しかつた戦前の皇室と国民のへだたりなど跡かたもなくなつて、なごやかな情景をかもし出していた。これはなによりも皇太子さま、美智子妃さまの庶民的なぐつとくだけた性格からの現われであろう。国民も皇室にはふんだんに接近されている。近親感がもりあがつていることがうかがわれる。

▼▼お送迎の市民たちは熱狂的な親しさがはみ出されているしご夫妻も型ばらず、とどくなら手を握りあわんばかりの気配がお顔に映じられたのは筆者の目ばかりではなかつたろう。

▼▼御所における日常は国際的にも国内的にもいろいろな行事がある。父君陛下のお代理として公式の場にも、チヨイチヨイ重責を果たされているのである

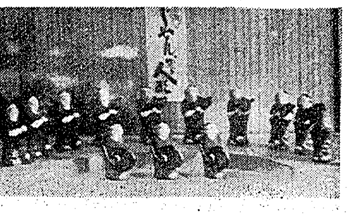
▼▼敗戦直後の混乱と虚脱状態下にあつては、まづい事件を引起して一躍有名になつたが、今は平和ないわきである。郷土の開発に一筋に官民あげて明け暮れている。汚名返上の絶好の機会でもある。

▼▼懸念された夜来の天候は好転して晴れ、ご夫妻の奉迎日和となつたのもなによりのことである。この機会に付け加えて申すなら、山に海に景色もよし、資源も豊富、種々の施設も他市とそん色はない。ただ一つ足りないもの、それは宿舎であつたこれほどご夫妻に市民は親しまれている。いわきの初夏に、磯の香りよぶ潮風をうけて、一夜の風情を満喫いただけたらと思つている。間もなくこれらの施設も整うことになるであろうしまたのお出をお待ちしながら、お無事にお視察の目的をはたされたことを喜ぶものであり、心からご苦労さまでしたと申しあげるものです。

ナッツは世界の果てまでも
藤越
貿易自由化の波に乗つて外国産のナッツ（木の実のタネ）やドイツのビールがハバを利かしはじめました。ひとつご試食を。
ミックスナッツ一袋　九〇円―一五三〇円
（クルミ、アーモンド、カシウ、ヘーゼルナッツの詰合せ）
アプリコット（米国あんず）　百グラム七〇円
ドイツ産ビール一本　一四〇円
米国産インスタントコーヒー　千三百五十円迄
干しブドウ（黒）百グラム　二〇円
（一階洋酒売場）
平市

外科
整形外科
入院随時
諸橋医院
諸橋鉄弥
菊池源二
鎌田行市内バス五色町停留所前
電話三〇八三番

献上の光栄に浴した
特製　じゃんがら人形



おみやげの店
平駅前　いづみや　TEL2348

●オートバイには誰れにも知られている
フジクラタイヤを
是非御使い下さい
オーツタイヤ
フジクラタイヤ
福島県総代理店
福島県総代理店
日新ゴム商会
平市五丁目十一番二九七八

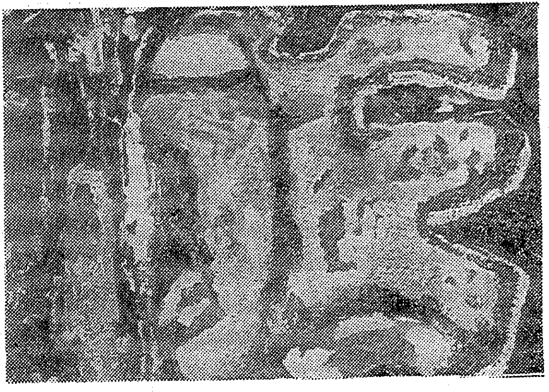
アート編物
アートソファーベット
直営　平支店開設募集
全国支店拡充のため平支店を開設するに付き各係社員を採用いたします

事務係	女18才―25才	2名	初給一〇、〇〇〇円
サービス係	男20才―25才	2名	初給一一、〇〇〇円
営業係	男女20才―45才	15名	固定七、五〇〇円 能率給一〇、〇〇〇円
集金係	男女23才―35才	5名	見習給 固定一五、〇〇〇円
編物講師	女20才―30才	10名	初給一〇、〇〇〇円

▽給与＝当社給与規定に依る昇給制度
▽健保、社会保障制度あり
▽通勤不可能者に寮設備（無料）あり
●履歴書持参来所下さい
面接日六月二日―五日迄
アート産業株式会社
平支店人事係
平支店所在地　平市長橋町二七番地

「英会話」無料教授
週2回・午後七時より
会費・月額Aクラス百円・B級無料
小学卒以上の男女・勤務者一般
英語、数学、珠算、国語、和裁、洋裁、華道、料理、音楽（ピアノ、オルガン）タイプ、柔道、剣道、書道、詩吟
◇小・中・高各クラス別に教授
◎入学手続簡易、月謝低廉
◆補欠募集中◆
平市白銀町　財団法人
平成人学校
日の出幼稚園
石島公民館

求む
▽男女店員◇高級優遇
▽詳細面談常磐市植町電二五九一
中央遊技場



タブローI（六の一）
新興美術院入選作品
磐城女子高等学校二年
佐藤千枝子作

自然公園「湯ノ岳」
地元民観光の施設要望

常磐市藤原字湯ノ岳開拓部落（石橋義高さんら十人）は市と市議会に湯ノ岳観光施設の整備促進を陳情した。入植十年になってどうやら自活できるようになったが、最近湯ノ岳の登山客が多くなってきたので、もっと湯ノ岳自然公園の観光施設が整えば登山客も増加し部落の現金収入が多くなるというもの。

納税のこと何でも相談
平商工会議所で

平税務署では一日から十日まで〃納税者の声を聞く旬間〃であるため、その行事の一環として六日平商工会議所、八日磐城商工会議所などで午前十時から巡回相談所を開設、仙台国税局協議団より協議官が派遣され〃国税に関することは何事でも相談に乗ります〃と呼びかけている。

麦作からいちごへ
湯ノ岳部落　作付けを転換

常磐市湯ノ岳開拓組合（佐藤築一組合長）では、組合員の経営の振興をはかるため、今までの麦作から転換して、いちご（ダナ種）の栽培を昨年から各戸で行なったが本年は大当りで作柄も上々、毎朝各地の青果市場に出荷をはじめた品質も良くキロあたり百円から三百円で仕切られ湯の岳いちごの人気もでてきている。また湯ノ岳行楽地のコースにあるので、地元でいきのよいいちごが飛ぶように売れることから、いちご園化することも将来有望視されるので、組合員はきたる四日午前七時出発、いちご作りで有名な、仙台市長町の画廊園を視察、本格的な栽培にのり出すことになった。

就職の方針など
職安関係者と協議

平職安では来月九日午後一時から管内三十二中校の三十七年度卒業生職業指導方針を決める。この日は各中学校の就職係の教諭と県教委の係員などが集まり就職の促進方を相談する。

三十七年三月の中学校卒業予定者は管内（磐城、常磐、内郷、小川、三和、好間、川前、四倉、平）で五千百四十三名、三十六年度卒業者三千九百二十六名で一千二百十七名の増となっている。そのうち進学希望者三千三百九十五名（男一千八百二人、女一千五百九十三人）職安の紹介希望者は一千五十四名、縁故予定者数は三百十三名、進学就職しない者三百三十三名の進路計画を立てた。

NHKローカル番組

NHK平放送局のローカル番組予定が次のとおり決った。▼三十日＝午前一一、五〇－一二、〇〇告知板、午後四、三五－四、五七午後のひととき、五、〇五－五、一〇ローカルニュース▼三十一日＝午前一一、五〇－一二、〇〇告知板、午後四、三五－四、五七午後のひととき、五、〇五－五、一〇ローカルニュース、六、四五－七、〇〇県民の時間▼六月一日＝午前一一、五〇－一二、〇〇告知板、午後四、三五－四、五七午後のひととき、五、〇五－五、一〇ローカルニュース▼二日＝午後四、三五－四、五七午後のひととき、五、〇五－五、一〇ローカルニュース▼三日＝午前一一、五〇－一二、〇〇告知板、午後五、〇五－五、一〇ローカルニュース。

芳賀の身柄送検
余罪十八件の泥はく

常磐署では去る十八日盗みの疑いで捕えた常磐市日渡六〇無職芳賀正一(三三)の余罪を調べていたが、三十日身柄を送検した。調べによると、芳賀は昨年九月七日ご前零時ころからご後五時ころまでの間に、同市日渡六雑貨商岩野留作さん方にしのび込み、たばこ、菓子など二万三千七百円相当を盗んだのをはじめ、市内の商店を専門に十八件、合計十三万五千円相当の盗みを働いていた

勿来市職員組合役員かわる

勿来市役所職員組合の役員が、このほど選挙を行い次のように決まった。執行委員長星昭光、副委員長国分広寿、書記長小野俊三、委員能田孝雄、安島友子、秋元克俊、熊田孝雄、櫛田勝夫、姪田進、村野大。

川部中職員ら千葉方面視察

勿来市川部中学校（校長門馬政雄氏）職員では六月六日から十日まで農休を利用し二泊三日間の予定で千葉、東京方面の学校視察を行なう。

ダンス愛好会で寄付

常磐ダンス愛好会（舟弘会長）では去る二十七日行なった勤労者慰安会の利益金五百円を身障者福祉会平支部に寄付した。

NHK第1【今晩】ラジオ福島

NHK第1		ラジオ福島	
6.05	アルタイをこえて	6.00	ジヤジヤ馬君
30	1丁目1番地	30	フクちゃん
7.15	ニュースハイライト	7.15	アイジョージの歌
30	今週の明星	30	日立演芸会
8.00	演芸会 ❶落語❷漫才	8.00	今宵を貴方と
9.10	ニュース解説	30	すかたん家族
25	❶講談❷歌❸劇	9.30	ピアノムード
10.10	ヤマの下請労働者たち	45	愛の渦潮
30	箏曲	10.00	連続浪曲
11.10	農業法案	30	バラドスアワー
30	香水ものがたり	11.05	宮本武蔵
		50	お休みの前に

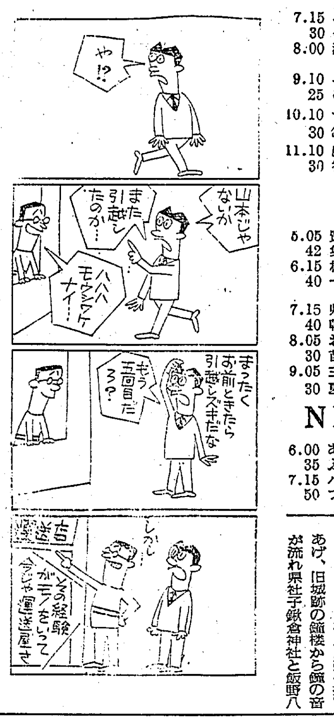
【明朝】

5.05	質問に答えて	5.00	今日も元気で
42	集団ビニールハウスの村	45	農家の皆さんへ
6.15	村の広場	6.10	今日もロビンで
40	一隅を照らす	30	スーパーメロデイー
7.15	県民の時間	7.10	名曲カレンダー
40	朝の訪問	30	ねナイシヨだよ
8.05	おはよう奥さん	8.05	お早ようダークダックス
30	昔の日記	30	トースト冗談
9.05	主婦日記	9.00	陽気な山彦さん
30	夏の家庭着		

NHK【今晩】テレビ

6.00	あすをつげる鐘	9.30	きょうのニュース
35	ふしぎな少年	10.00	わが町の歌
7.15	バス通り裏	30	ニュースの焦点
50	プロ野球大洋対巨人		

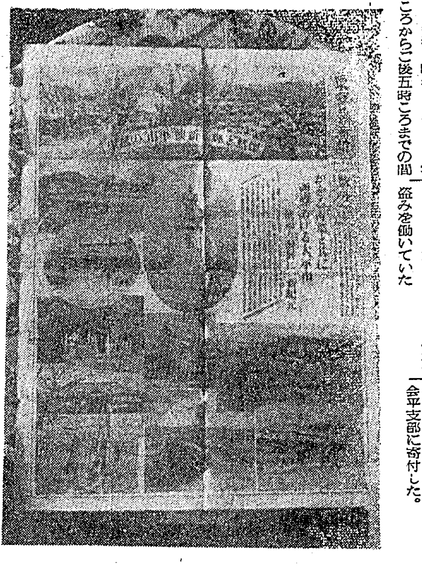
モクさん
667


や!?
山本じゃないか
また引越したのか…
ハハハモウシワケナイ…
まったくお前ときたら引越レズキだな
もう五回目だろ?
しかし
その経験がモノをいって今じゃ運送屋さ

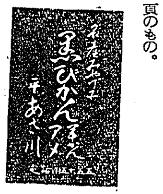
平市制記念
日行う

平市が市制施行をしてから満二十四年を迎えた。このため市では一日課長や施設巡りなどの記念行事を行うが、この市制を東京日日新聞が特別号外で報じた当時の新聞が保存されており、市に寄せられ当時を知る貴重な資料となっている。勿来市山田町字和久一、本多輝夫さん(三四)が保存していたもので、大阪毎日新聞社東京支店が発行した昭和十二年五月二十二日付号外「東京日日新聞」タブロイド版二頁のもの。

号外によると平町と平窪村が合併、六月一日に市制施行した記事が写真入りで載せられる。施行日の一日には花火三発を打ちあげ、旧城跡の鐘楼から鐘の音が流れ県社子鍬倉神社と飯野八幡神社で市制奉告祭、市内では小中高学生による旗提灯行列が賑やかにくりひろげられたことなどが細かに書かれている。合併時の人口は三万五百七十八人五千五百十八世帯。また一面に平市全景、大通り、安藤信正公の銅像、平駅構内、平消防会議所など写真十一枚、二面には町長の青沼鉄太郎、平窪村長草野堂弼、平郵便局、平裁判所など写真六枚が収められ、青沼町長は喜びとして「勝ってカブトの緒をしめよ」との談話を発表している。



（写真は平市制を報じた東京日日新聞の号外）



婦女暴行の容疑
猶予中の相沢を逮捕

平署は三十一日朝、茨城県筑波郡谷田村字下小目生れ、住居不定無職相沢利男(三二)を婦女暴行と住居侵入の疑いで逮捕した。相沢は昨年十月二十九日午前零時十分ころ四倉町玉山字宮脇五、農業石井みよ子さん(三八)方に侵入して同人を暴行しようとしたが騒がれ目的を果さず逃走したもの。

また相沢は三十四年三月ころ平市内でビールなど盗み、地裁平支部から懲役十カ月、三年間の執行猶予の判決を受けていたもの。

陸上競技大会
山田中校で

郡中体連南部大会の陸上競技大会は六月十八日午前九時から山田中学校に開く。

大学OB戦
四日市営球場で

第五回五大学OB野球リーグ戦は六月四日ご前九時から平市営球場で開くが、組合せが次のとおり決った。なお今までの成績は明大、中央が二勝、早大が一勝となっている。

▼第一試合（午前九時）明治大－中央大▼第二試合（午前十一時）法政大－日本大▼三位決定戦（午後二時）▼決勝戦（午後三時半）

湯本料飲組合総会
会長に熊田氏

常磐市湯本料飲組合の総会はこのほど開き、次の役員を決めた。

▼組合長、熊田盛文▼副組合長馬目睦政▼会計、酒井一雄▼庶務、軍司栄司▼監査、片寄惣次上遠野正二。

柳沢記者栄転
三日任地へ

読売新聞平通信部柳沢茂記者は須賀川通信部に栄転、赴任挨拶に本社を訪ずれた。なお三日ご前十一時十四分平発、磐越東線で任地にたつ。

わが恋の旅路
想い出求める哀愁の瞳

平松竹
上映中

〔物語〕

石橋潔（川津裕介）は、ドイツ語を教えていた有閑夫人、宇佐美夫人（月丘夢路）との関係を清算して、自力で生活しようと地方新聞である横浜タイムス社に入社した。ある日、社の先輩津田進二（佐藤慶）に、連れて行かれた喫茶店〃朱印船〃で、ウエイトレスをして働いている東千江（岩下志麻）に出逢った。

長の眼をした千江の清潔なたたずまいに潔は強く魅かれた。潔は足繁く朱印船に通うようになった。千江の同僚、夏木鮎子（柴田葉子）野田さぎり（富永ユキ）は、そんな潔をからかった。そして、木村泰一（渡辺文雄）というブルジヨア青年も、千江目当に通ってくると言った。「千江ちゃん、木村さんにお金借りてるらしいのね」さぎりは潔の耳許でそっとささやいた。千江には怠け者で、酒好きで、競輪狂の父（三井弘次）がいた。千江が木村から借りた金は、父の浪費の穴埋めであったのだが……。ある雨の降る朝、潔は街で千江に逢った。

その日から、二人の間は急速に深まっていった。生活につかれ、けだるい思いの毎日を過している千江にとって、潔の出現は大きな救いであった。港が見える丘を散歩した二人は、誰もいないある外人邸宅に入って行った。庭に転がっている古ぼけた芝刈機が妙に印象的であった。其処で、千江は潔にすべてを捧げた。潔は千江と結婚したいと、先輩の津田に相談したそうした時新聞社に千江から電話があった。競輪場のスタンドから父が落ちて入院したと云うのだ。その夜、千江は潔の下宿を訪ねた。「あたし、もう負けそう」「負けるなんて。金ぐらいで誰が……」翌日、潔は宇佐美夫人を訪れた。事情を話して金を借りる為であった。夫人は渋々一万円の小切手を彼に手渡した。潔の献身と努力で千江の父も漸く小康を得る事が出来たが、ある日、木村泰一が県庁の記者クラブに彼を訪ねて来た。勿論、千江の件についてであった。

だが、話の中途で潔は急に大阪へ出張する事になり千江にも逢えず出発した。その留守中に千江は木村と結婚してしまった。然しこの結婚には初めから木村の父親（山村聡）が反対しておりうまく行く筈がなかった。千江の入籍も許されず、彼女にとっては毎日毎日がつらい一日であった。

そんなある日、買物に出た千江は舗道を横ぎろうとして自動車にはねられてしまった。

慶弔録
勿来市　6月1日

「婚姻」
▼助川照朗（錦町字上中田）と神永幸子（植田町本町）▼赤津吉洋（関田町字南町）と安斉麗子（磐城市字下町）

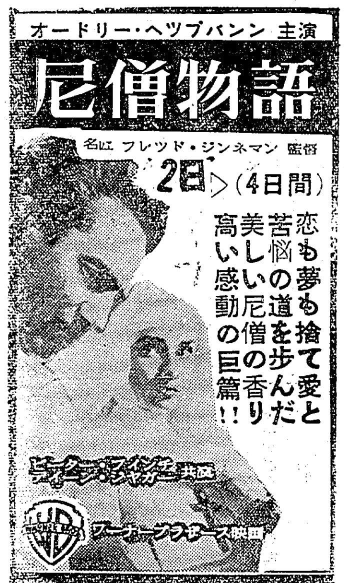
「死亡」
▼斉藤春四(三九)（関田町字南町トシ夫）

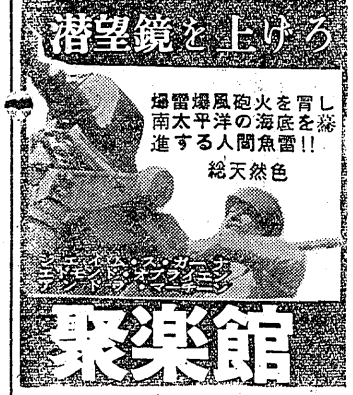
「出生」
中野久枝白(米町字新屋敷一長女)

（平市）
◉世界館　六日迄　電二〇三八
六、五六　投資令嬢
八、三〇　黒い十人の女
◉ひかり座　五日迄　電三三八六
七、〇五　奥様の裸は高くつく
八、四〇　四人の恐迫者
◉聚楽館　一日迄　電二三三七
六、三〇　GIブルース
八、三〇　サイコ
◉東映劇場　五日迄　電二〇六八
七、〇五　忍術使と三人娘（大映）
八、二六　花笠ふたり若衆
◉三夜東映　六日迄　電三八五三
八、四三　若殿千両肌
七、四〇　南蛮鮫
九、一〇　男の血潮がこだまする
◉民劇　四日迄　電四五三三
五、三〇　サラリーマン奥様心得帖
七、一〇　金づくり無法時代
八、五六　アトミックのおぼん
◉平館　六日迄　電四四三一
六、五五　大相撲夏場所（前半戦）
七、四〇　東京ドドンパ娘
八、三〇　ろくでなし野郎
◉平松竹　六日迄　電六五二七
七、〇〇　図々しい奴
八、三〇　わが恋の旅路
◉平新東宝　六日迄　電三六〇〇
七、〇〇　風雲新選組
八、四一　湯の町姉妹

（常磐市）
◉三函座　六日迄
あの波の果てまで
女　舞
◉常磐日活　六日迄
胸の中の火
都会の空の用心棒
ろくでなし野郎
◉常磐座　六日迄
天下を斬る男
夜ざくら秘剣
赤い影の男
◉湯本座　六日迄
気分を出してもう一度
ヘロデ大王
戦う若者たち

（勿来市）
◉植田ロマンス　二日迄
罠の男
暗黒大陸


オードリー・ヘツプバンン主演
尼僧物語
名匠フレッド・ジンネマン監督
2日▷（4日間）
恋も夢も捨て愛と苦悩の道を歩んだ美しい尼僧の香り高い感動の巨篇!!
ピーター・フインチ　ディーン・ジャガー共演
ワーナーブラザース映画


潜望鏡を上げろ
爆雷爆風砲火を冒し南太平洋の海底を驀進する人間魚雷!!
総天然色
ジエイムス・ガーナー　エドモンド・オブライエン　アンドラ・マーチン
聚楽館

内科
小児科
後藤医院
後藤全久
平市古鍛冶町　電三〇三六

楽しいお食事は
レストランパールで
宴会には定評を戴いております
階上ホールを御利用下さい
レストラン
パール
平市三田小路　電3388

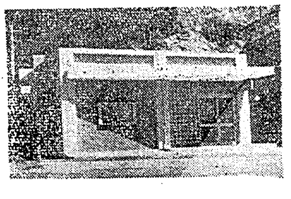
マルシチ醤油
お食事がおいしくなる……
マルシチ!!
一・八リツトル
▽お買求めは有名店で
醸造元　高橋弥次右衛門商店　今市市
特約店　丸仙　平水産魚市場　平市

財団法人
竹林病院
院長　竹林貞吉
本院　平市十五丁目十三番地　電話四一三三・四一三三番
分院　平市小太郎町十三番地　電話四一一三三番
厚生医療指定病院
労災保険指定病院
肢体不自由者相談所
外科　内科　皮膚科　理学診療科
整形外科　小児科　呼吸器科　泌尿器科　レントゲン科

スポーツカブ
十カ月分割払いでお気軽に求められます
※御報参上
佐藤輪業
平市月見町　電六四五二

新鮮な工場直送の
キリン生ビール
キリン生ビール　中ジヨツキ　五〇〇CC　お通付　一二〇円
キリン生ビール　小ジヨツキ　三〇〇CC　お通付　八〇円
白馬の雪　二級酒　正一合　お通付　八〇円
白馬の雪　一級酒　正一合　お通付　一二五円
居酒屋まるさ
平市中央通り　電三六二〇

皮膚科
性病科
矢吹医院
平市古鍛冶町　電（平）四六九三


祝（磐城市電報電話局）江名・泉間即時通話開始
6月3日

渡辺郵便局　電話6094
江名町郵便局　電話7801・7800（局長宅）
泉町農業協同組合　電話6223・6125（組合長宅）
江名町農業協同組合　電話7304
永崎小学校　電話7044
江名中学校　電話7043
江名小学校　電話7042
泉中学校　電話6043
泉小学校　電話6041
渡辺中学校　電話6044
渡辺小学校　電話6042
磐城市泉町　芳賀製材所　電話（工場）6230（自宅）6231
江名町字北町　トドロタクシー部　電話7911・7326
磐城市江名港　福島県鰹鮪協同組合　電話7164・7165
磐城市中之作港　製氷冷凍株式会社　電話7146・7147
中之作漁業協同組合　電話（代表）7111－5
中之作港　海産商組合　電話7154・7153
磐城市中之作　吉田喜好商店　電話7174－5　林ノ上三三五五　定西小名浜工場　一三七五
江名・中之作金融団
七十七銀行支店　電話7151・7152
東邦銀行支店　電話7181・7182
磐城信用組合　電話（本店）7171・7721（支店）7519
常陽銀行支店　電話7161・7162
テラゾウ・墓碑・大谷石　吉田石材工業所　電話6254　泉駅前
有限会社　上遠野製材所　上遠野深　電話6248　磐城市泉滝尻
磐城市役所収入役　吉田善八　電話6075　磐城市泉滝尻
磐城通運株式会社社長　斎藤昌平　電話6138（自宅）　磐城市泉町